

「新しい木質構造のはなし —構造解析・防耐火・設計施工—」

建築木質構造に関する最新の研究成果および設計施工の最新動向について3名の専門家の先生よりご講演を頂きます。構造、防耐火、設計施工の各知識は木質構造を実現する上での必須知識です。本講演会では各1時間の講演時間を設けまして、耐震分野における構造解析、防耐火分野の近年の法規と研究動向、中大規模木造の設計施工に関する最新情報について講演して頂きます。

開催日：2019年3月8日(金)

13:00~17:00(受付開始 12:30)

会場：椋山女学園大学 生活科学部棟 地下1階 B110室

(名古屋市千種区、最寄駅:地下鉄東山線星ヶ丘駅)

参加費無料



講演会スケジュール 司会：椋山女学園大学・清水秀丸(東海支部構造委員)

13:00 開会の挨拶：名古屋大学・飛田潤(東海支部構造委員長)

13:05~14:05 「木造住宅の耐震性能の見える化」：京都大学・中川貴文

2016年熊本地震では木造住宅の耐震性能が再び注目されるようになりました。地震国である我が国では、実大の木造住宅による振動台実験等の耐震の研究が数多く実施されてきています。本講演では、それらの研究成果を活用した最新の耐震シミュレーション技術について紹介します。

14:05~15:05 「木質系構造の防火上の要求性能と近年の研究動向」：国交省国土技術政策総合研究所・鈴木淳一

公共建築物に関する木材利用促進法(2010年)の施行や政府の方針により、建築分野においてCLTパネル等の木材利用の推進が進められている。特に防火関係では、建築基準法の改正(2015年、2018年)やそれらに伴う国土交通省告示の改正等が行われている。一方、日本建築学会の大会発表等では、木質系耐火構造に関する検討や薬剤処理木材を用いた木材の自己消火性に関する研究等、木質系構造に関する研究発表が多くなっている。ここでは、近年の防火規定に導入された考え方や最近の研究動向について概説する。

15:05~15:20 休憩(15分)

15:20~16:20 「中大規模木造の計画」：三四五建築研究所・清水人美

木造は環境負荷の少ない材料として近年注目されていますが、他構造と比べて部材の性能や接合部など、考慮する事項が多くあります。また、木材調達や材料選定などの建築技術以外の知識不足が木造計画の障害となることもあります。今回、接合部設計等の構造計画と地域材活用への取り組みについて、具体的な物件例を挙げてご紹介させていただきます。

16:20~16:40 全体質疑・討論

16:40 開会の挨拶：飛田潤(前出)

申込方法：参加者数の把握のため、参加希望者の代表者氏名、所属(学生の場合は学年も)、参加者人数を明記して下記メールアドレスまで申し込み下さい。

申込締切り:2019年2月28日(木) 定員になり次第、受付を終了する場合がございます。

申込先：名古屋大学 木下佳子 ykino@urban.env.nagoya-u.ac.jp

